



行方歴史探検 輝く行方の先人たち 5



武田三宿江戸まさり俳諧文化を紡いだ俳人～洞海舎涼谷～



洞海舎涼谷
「ふるさと文庫」より
転載より

本名は河野新之右衛門、宝暦12(1762)年、帆津倉村(現行方市三和地区)生まれ、「万家人名録」(※1)で紹介されるほど高名な俳人でした。実家は「亀甲正」の屋号で醸造業を営み、利根川の水運を利用して江戸に醤油などを出荷していました。そのため涼谷は、若い頃から江戸の文化に触れる機会に恵まれ、妻も江戸から迎えました。進取の気風に富んだ涼谷は、商売だけでなく流行の最先端を行く豪商でした。円熟期には、200余人の洞海舎社中(※2)が生まれ、涼谷家や化蘇沼稻荷神社(※3)で俳諧(※4)に親しみました。折しも化政文化(※5)華やかになりし頃で、小林一茶など高名な俳人も涼谷家を訪れています。「お江戸みたけりや武田へおいで武田三宿(古宿・宿・内宿)江戸まさり」と言われたのもこの頃でした。

- ※1 江戸時代後期(1813年頃)刊行の俳人の全国名鑑
- ※2 洞海舎という俳諧同好会、組織
- ※3 天明8(1788)年焼失、文化元(1804)年涼谷42歳時、再建に貢献
- ※4 江戸期の文学形式で発句・連句の総称
- ※5 文化・文政期(1804～30年頃)に栄えた江戸を中心とした町人文化

※洞海舎涼谷(1983中根誠著 筑波書林ふるさと文庫)、北浦史資料考(1985北浦村教育委員会)、北浦町史(2004北浦町教育委員会)を参考にしています。

【問】生涯学習課(北浦庁舎)
☎0291-35-2111



まちの
広報紙

スマホでもっと楽しめる! 市報行方デジタルブック!

音声読み上げ、スライドショー、10言語の多言語翻訳機能が搭載された無料のスマートフォン向けアプリです。紙の情報を電子データで配信しています。

Android



行方市のコンテンツは
こちら▶



iPhone



編集後記

気象庁が40度超えの日を「酷暑日」と新たに定めました。また2100年には、夏は40度超えの日が日常化すると予想されています。将来「2026年は涼しかった」と振り返る日がくるかもしれません。まずは過去最高の暑さが予想される今夏、万の対策で乗り切りましょう。(樹)オーストラリアの小学生と市内の小学生たちが2日間かけて積極的に交流しました。取材に同行しながら、私は27年前に初めて来日した自分を思い出しました。緊張と感動と同時に、お互いの文化に熱心に触れ合おうとがんばる子どもたちの姿に励まされ、元気をもらいました。(陽)

市報等に掲載する
写真を募集します
市内で撮った写真をお
寄せください。
ご応募いただいた写真
を使用する際には、こ
ちらからご連絡します。
【お問い合わせ】
魅力発信課(麻生庁舎)

かわいい笑顔あつまれ!



はじめてのお誕生日!
おめでとう♪
つむぎ
紬希ちゃん 1歳

「市報行方」の感想をお聞かせください

いただいた感想は、より良い市報づくりの参考にさせていただきます。感想は、下記のQRコードか、はがきやFAX等でお寄せください。ご協力よろしくお願いします。

【お問い合わせ】
魅力発信課(麻生庁舎)
☎0299-72-0811
FAX 0299-72-1537



「かわいい笑顔」募集中!

小学校入学前までのお子さんの写真を募集しています。詳細は、右のQRコードから▶



「市報行方」は、各地区の公共施設や商業施設等に配置しています。

詳細は、右のQRコードから▶

【市報配布に関するお問い合わせ】

総務課(麻生庁舎) ☎0299-72-0811



行方市の人口

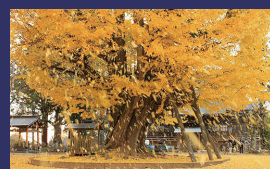
総数 30,515人 (-22)
男 15,499人 (+1)
女 15,016人 (-23)
世帯数 13,188世帯 (+11)
令和8年7月1日現在の住民基本台帳人口
※外国人住民を含む () は前月との比較



行方市民憲章 やさしい自然 かがやく人 わたしたちがつくる 魅力あるまち、行方市



市の花 ヤマユリ (山百合)



市の木 イチョウ (銀杏)



市の鳥 シラサギ (白鷺)